

新潟総鎮守

白山神社

令和元年11月1日・11月11日 記念御朱印



1ならびの日付と鎮座地が入った記念御朱印を枚数限定で授与いたします。

令和元年11月1日および11月11日、白山神社では特別な御朱印をご用意いたします。またとない記念の日付に加え、白山神社の所在地・新潟市中央区一番堀通町一番地1鎮座の文字が記された、1がならぶ縁起のよい御朱印です。11月1日(金)は限定1,101枚、11月11日(月)は限定1,111枚の記念御朱印をそれぞれ授与いたします。

令和の始まりの年、そして新潟開港150周年の巡り合わせを記念した、特別な縁起物です。

●御朱印料 500円

●授与日時 11月1日(金)、11月11日(月)両日共 9:00~20:00迄

なくなり次第終了となります。／参拝の証ですのでお一人一枚でお願いします。／紙だけのお渡しとなります。通常の御朱印は御朱印帳に直接お書きいたします。

・ 湊町新潟 白山神社の歴史と足跡 ・

新潟町が現在の位置に移ったとされるのは江戸時代の正保・慶安・承応年間(1644-1654)とされています。それに先立ち、白山神社は古新潟より遷座(移設)し、白山島の現在の位置に建立されました。現在の本殿は正保4年(1647)に竣工したものです。明暦元年(1655)には、白山神社から日和山までの街並みの骨格ができたと言われ、現在の古町通や本町通が誕生。町家が建てられ、白山神社を起点に1番町、2番町と町割りされたといわれています。明暦地子帳には1,000軒を超える商人・職人などが、屋号・職業とともに間口幅と地子高(宅地税)を記載しています。新潟町の移転とともに、新潟湊・湊町新潟も活況を呈していきました。日本海側から下関を経て大坂に至る西回り航路の寄港地となり、蝦夷地とを結ぶ北前船の往来によって全国的な湊に発展。白山神社は湊の守護神・総鎮守として崇敬されておりました。

古町・本町という名称は江戸時代から、また東堀・西堀・一番堀通町という名称は明治維新の後、町名改正からとされています。白山神社の住所である一番堀は、神社の前を通っていた一番堀(白山堀)の名前に由来しており、文字通り起点となる一番目の堀ということです。

明治6年、日本で最初の公園のひとつである白山公園が完成。白山神社の境内にあった石灯籠には、現在の愛媛県より船舶の航海安全を祈願して寄進された「享保8年癸卯6月、与州金子喜多丸」の文字が刻まれ、白山の入り江に入港してくる船にとっての灯台の役割を果たしており、湊町新潟の目印にもなっていました。新潟最古とされるこの灯籠をはじめ、白山神社に寄進された多くの灯籠が今も残っています。

また、いつ頃移設されたかは不明ですが、江戸・松前・京都・会津・大坂・米沢・善光寺・仙台への里程(距離)が刻まれた泉屋宗平奉納の道しるべも立っており、ここ白山神社が越後新潟の起点・目印とされていたこともうかがえます。